

教科(科目)	国語（言語文化）	単位数	2単位	学年(コース)	1学年
使用教科書	第一学習社『高等学校 標準言語文化』				
副教材等	尚文出版『常用漢字ダブルクリア 四訂版』・大修館書店『新全訳古語辞典』				

1 学習目標

言葉活動を通して物事を的確に理解し、ものの見方・考え方を深め、効果的に表現する能力を育成することを目指す。

- (1) 社会生活に必要な国語の知識や技能を身につけるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深める。
- (2) 論理的に考える力、深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりを通して伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができる。
- (3) 言葉の価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しむことで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会と関わろうとする態度を養う。

2 指導の重点

進路が多岐にわたること、成人年齢の引き下げによって在学中に成人になることを考慮して、

- ①社会生活に必要な国語の知識や技能などを身につけることを目指す。
- ②特に古典の知識や技能などを身につけることを目指す。
- ③我が国の言語文化の担い手としての自覚を養う。

3 評価の観点の趣旨

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
社会生活に必要な国語の知識や技能を身につけているとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めている。	各領域において、論理的思考力、深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者と伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めている。	言葉を通して積極的に他者や社会と関わることで自分の思いや考えを深め、言葉の価値に対する認識を深め、進んで読書に親しむことで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもっている。

4 評価規準と評価方法

評価は次の観点から行います。			
	知識・技能 a	思考・判断・表現 b	主体的に学習に取り組む態度 c
評価の観点	社会生活に必要な国語の知識や技能を身につけているとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めている。	各領域において、論理的思考力、深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者と伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉を通して積極的に他者や社会と関わることで自分の思いや考えを深め、言葉の価値に対する認識を深め、進んで読書に親しむことで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもっている。
評価方法	以上の観点から、 ・定期考査、小テストの分析 ・授業の取り組み（出席状況、授業態度、音読、漢字練習など）の観察 ・ワークシート等の提出物の内容の確認などから評価します。	以上の観点から、 ・定期考査、小テストの分析 ・授業の取り組み（出席状況、授業態度、発表や話し合いなど）の観察 ・ワークシート等の提出物の内容の確認などから評価します。	以上の観点から、 ・定期考査、小テストの分析 ・授業の取り組み（出席状況、授業態度、発言や話し合いなど）の観察 ・ワークシート等の提出物の内容の確認などから評価します。

5 学習計画 (その1)

月	単元名	授業時数 と領域	教材名	学習活動(指導内容)	評価の 観点	評価方法
4	伝統と文化	2 「読む こと」	「新潟北高 等学校校歌」	<ul style="list-style-type: none"> ・常用漢字を適切に読み書きし、文中の語句の意味を理解している。 ・歌詞の内容を理解している。 ・歌詞の内容を踏まえて、母校の伝統と理想とする生徒像について理解している。 	a b c	授業態度 ワークシートの取 り組み、提出 定期考査、小テス ト
4 5	小説を読 む(一)	8 「読む こと」	「とんかつ」	<ul style="list-style-type: none"> ・常用漢字を適切に読み書きし、文中の慣用表現の意味を理解している。 ・登場人物のせりふや行動から人物像や心情を読み取ることができる。 ・謎の母子の登場に始まる話の構成と展開を理解することができる。 	a b c	授業態度 ワークシートの取 り組み、提出 定期考査、小テス ト
5 6	古典入門	8 「読む こと」	「児のそら 寝」	<ul style="list-style-type: none"> ・歴史的仮名遣いに注意して古文を正しく読むことができる。 ・古語の意味を調べて、現代語訳することができる。 ・現代に通じる話のおもしろさや巧みな人物描写を読み取ることができる。 ・学習課題に従って、作品理解を深めようとしている。 	a b c	授業態度 ワークシートの取 り組み、提出 定期考査、小テス ト
7 8	漢文入門 故事成語	15 「読む こと」	訓読に親し む(一)、 (二)、(三) 「五十歩百 歩」	<ul style="list-style-type: none"> ・返り点、助字、再読文字の種類と訓読のしかたに従って正しく訓読することができる。 ・現在使われている格言や熟語が、漢文に由来していることを理解している。 ・故事成語の由来となった話を読み、古語と現代語の関わりについて理解している。 	a b c	授業態度 ワークシートの取 り組み、提出 定期考査、小テス ト
9 10	小説を読 む(二)	15 「書く こと」	羅生門	<ul style="list-style-type: none"> ・常用漢字を適切に読み書きし、文中の慣用表現の意味を理解している。 ・登場人物のせりふや行動から人物像や心情を読み取ることができる。 ・執筆の素材とした『今昔物語集』の説話と読み比べることで、小説の主題を読み取ることができる。 ・学習課題に従って、作品理解を深めようとしている。 	a b c	授業態度 ワークシートの取 り組み、提出 定期考査、小テス ト

5 学習計画 (その2)

月	単元名	授業時数 と領域	教材名	学習活動(指導内容)	評価の 観点	評価方法
10 11	歌物語を 読む	10「読む こと」	『伊勢物語』 東下り	<ul style="list-style-type: none"> ・歴史的仮名遣いに注意して正しく読むことができる。 ・古語の意味を調べて、現代語訳することができる。 ・話中の和歌の意味を理解し、和歌が果たしている役割と歌物語の読み解き方を理解している。 ・学習課題に従って、作品理解を深めようとしている。 	a a b c	授業態度 ワークシートの取 り組み、提出 定期考査、小テス ト
12 1	漢詩の鑑 賞	6「読む こと」	「静夜思」 「送元二使 安西」 「春望」	<ul style="list-style-type: none"> ・漢詩のきまりを理解している。 ・漢詩のきまりを踏まえて、定型詩の中の限られた語句を通して作品の情景や心情を読み取ることができる。 ・技法(押韻、対句など)の効果について理解している。 ・学習課題に従って、作品理解を深めようとしている。 	a b c	授業態度 ワークシートの取 り組み、提出 定期考査、小テス ト
2 3	短歌と俳 句	6「読む こと」	清水へ・手毬 唄	<ul style="list-style-type: none"> ・短歌、俳句のきまりを理解している。 ・短歌、俳句のきまりを踏まえて、定型詩の限られた語句を通して作品の情景や心情を読み取ることができる。 ・学習課題に従って、作品理解を深めようとしている。 	a b c	授業態度 ワークシートの取 り組み、提出 定期考査、小テス ト

計 70 時間 (50 分授業)

※ 領域ごとの授業時数合計

領域ごとの 授業時数合計	「書くこと」 15 時間	「読むこと」 55 時間
-----------------	-----------------	-----------------

6 課題・提出物等

- ・授業で活用したワークシートは必ず提出してもらい、その内容等で「主体的に学習に取り組む態度」を評価します。
- ・様々な作品に触れて読書に親しむ態度を養い、自己を向上させる目的で、長期休業中に課題を出します。提出されたものを評価の観点に基づいて評価します。

7 担当者からの一言

各分野の代表的な作品を読解し鑑賞することで、豊かな感受性と想像力を養うことを意識して授業に臨んでください。古典作品が現代の言語活動や文化に及ぼした影響について理解することで、言語による文化の豊かさを味わい、社会生活を豊かにする知性と教養を培ってください。(授業担当者)